

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和8年第1週（令和7年12月29日～令和8年1月4日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- ・第1週は医療機関の年末年始の休業期間を含み、多くの定点把握疾患で報告数が減少しています。
- ・インフルエンザの警報が継続しています。本疾患は、患者の咳やくしゃみ等のしぶきに含まれる飛まつを吸い込んだり、ウイルスが付着した手で口や鼻に触れたりすることで感染します。1～3日の潜伏期間の後、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。重症化すると、肺炎や脳症を起こし死に至ることがあります。本疾患を疑う症状がある場合は、早めにかかりつけ医等の地域で身近な病院に電話で相談しましょう。本疾患と診断された場合は、外出を控え自宅等で療養しましょう。感染拡大防止のため、手洗い、適切なマスクの着用、こまめな換気、咳エチケット等に努めましょう。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	1	1	295	14,480
腸管出血性大腸菌感染症	1	1	44	4,319
レジオネラ症	1	1	31	2,413
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1	22	1,382
侵襲性肺炎球菌感染症	2	2	48	3,391
梅毒	3	3	167	13,530
百日咳	2	2	352	89,387

■ 定点把握疾患報告数

■ : 警報レベル

■ : 注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	85	0.70	1.73	5,068	1.32
インフルエンザ（警報レベル）	2,475	20.29	0.58	87,534	22.77
急性呼吸器感染症	6,304	51.67	0.71	281,298	73.43
RSウイルス感染症	15	0.21	0.39	1,709	0.73
咽頭結膜熱	7	0.10	0.11	861	0.37
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	129	1.84	0.37	6,557	2.80
感染性胃腸炎	302	4.31	0.67	13,079	5.59
水痘	41	0.59	1.64	949	0.41
手足口病	15	0.21	0.88	131	0.06
伝染性紅斑	5	0.07	0.20	997	0.43
突発性発しん	11	0.16	0.41	516	0.22
ヘルパンギーナ	5	0.07	0.56	67	0.03
流行性耳下腺炎	0	0.00	0.00	73	0.03
急性出血性結膜炎	0	0.00	-	3	0.00
流行性角結膜炎	5	0.19	0.15	372	0.54
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	7	0.01
無菌性髄膜炎	1	0.07	-	15	0.03
マイコプラズマ肺炎	4	0.27	0.67	339	0.71
クラミジア肺炎	0	0.00	-	3	0.01
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	1	0.07	-	6	0.01